

月刊リベラルタイム 9月号に たなべ雄一の記事が載りました！

空家対策条例のできるまでを ドキュメント記事で紹介

月刊雑誌「リベラルタイム」で好評連載されている「公明党を歩く！」の第20回として、たなべ雄一など公明党名古屋市議団が主導して成立した「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」の成立に至る過程や背景を丁寧な取材のうえ記事にいただきました。空家条例は議員が提案したいわゆる議員条例ですが、ひとたび成立・施行されると名古屋市の条例というくくりになってしまうため誰（会派）が、どのような目的で、どのように作り上げたか、という事実が分からなくなってしまう。その意味でリベラルタイム誌は貴重な資料性の高い記事を提供して下さったと思います。掲載に対し心からの感謝と敬意を表します。



好評
配布中！

空家条例パンフレットが完成！

公明党名古屋市議団では、2月に成立し7月から全部施行されている「名古屋市空家等対策の推進に関する条例」について、市民の皆様詳しくお伝えし適切に活用していただくためのパンフレットを作成しました。パンフレットでは名古屋市を取り巻く空き家問題の状況や条例の概要と市が定める空家等認定基準、そして条例による措置の流れを掲載しています。他にも全国の空き家問題と条例に詳しい上智大学の北村教授のコメントや、条例制定に関わった公明市議などのコメントを紹介しています。たなべ雄一のHPではWeb版をご覧ください。



たなべ雄一 連絡先

〒464-0073
名古屋市千種区高見一丁目 14-1
電話：052-763-3797
FAX：052-763-3828

たなべ雄一 公式サイト！

市政情報
満載！

たなべ雄一 検索

<http://www.komei.or.jp/km/nagoya-tanabe-yuichi/>

ひとことメッセージ

今回の「まっすぐ通信」は私がお届けしました。
⇒ たなべ雄一（本人） □協力者（ ）



いつもお世話になります。



不育症、85%は出産可能。名古屋市立大学病院に不育症電話相談窓口。

☎豆柴ダイヤル(052)851-4874

相談可能曜日：時間
●火曜日：正午～15時
●金曜日：8時30分～11時30分
※祝日および年末年始（12/29～1/3）は除きます。
相談従事者：不育症の専門知識を有する
カウンセラー（臨床心理士、助産師）



くらしにまっすぐ！ 未来にまっすぐ！ 市政の情報・調査結果をお届けします！
千種区選出名古屋市会議員・公明党名古屋市会議員団

たなべ雄一 ゆういち
まっすぐ通信



発行日
2014年11月1日

名古屋市の地下鉄をもっと安全な乗りものへ！

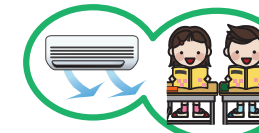
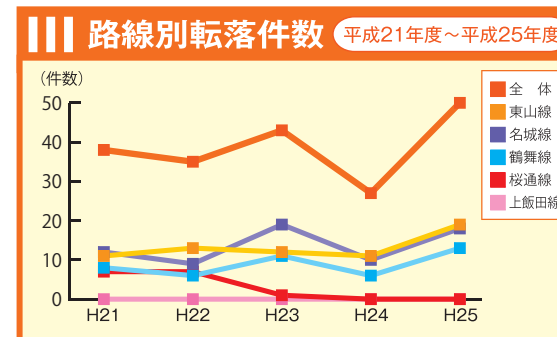
平成27年度
に実現します。

東山線全駅に ホーム柵を設置



たなべ雄一の地道な提案で実現

たなべ雄一は地下鉄利用者の安全のために、平成20年11月定例会での質問において地下鉄駅への可動式ホーム柵設置を提案するなど一貫して市に要望を続けてきました。その後、H23年7月には桜通線全駅（21駅）にホーム柵が設置されました。現在、市交通局では来年度に迫った東山線全駅（22駅）へのホーム柵設置に向けて準備を進めています。ホーム柵は転落事故を無くすうえでとても有効です。視覚障がい者や車いす利用の方も安全にホームを移動していただけます。更に自殺の防止にもなります。交通局の路線別転落件数を見ると、ホーム柵設置後には桜通線での転落件数はゼロになっています（上飯田線2駅はH15年3月に設置済）。H25年度では転落件数の合計は50件でそのうち自殺が4件、自殺と思われるものが5件となっています。尊い生命を守るためにホーム柵の設置は急務です。交通局では今後、名城・名港線全駅（34駅）へのH32年度設置に向けて準備を進めていきたいとしています。



中学校普通教室のエアコン設置状況を視察 平成27年末までに全ての小中学校普通教室に設置完了予定

近年の夏の厳しい暑さを受けて、子どもたちの健康維持と学習効率向上のために公明党名古屋市議団が小中学校普通教室へのエアコンの設置を要望してきた結果、昨年度末にまず全中学校の普通教室への設置が完了し、この夏から稼働が始まっています。たなべ雄一は7月24日に西区にある天神山中学校へエアコンの設置状況の視察に行きました。学校では市教育委員会の「空調設備運用指針」に基づいてエアコン利用をしています。暑さの厳しい日、最上階の教室は非常に暑くなり、扇風機だけではとてもしのげません。たなべ雄一は教育委員会と学校に対し、今後も子どもたちの健康面に配慮したエアコン利用をするようお願いしました。



市民の
皆様へ

この議員広報は名古屋市議会基本条例に定められた事項のうち、議員自らの議会活動を市民に分かりやすく説明することを目的としたものです（名古屋市議会基本条例第3条の②）。配布については何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

がんばろう日本！ 復興4年目。被災地 東北を忘れない。

東日本大震災の被災地視察レポート 復興の槌音を聞き、被災者の心に寄り添う

つち おと

「忘れないで」の声を受け止め
震災記憶の風化と戦ってゆく

震災から3年 被災地の今を伝えます

東日本大震災から3年半超が経過しました。たなべ雄一は発災の年から毎年、名古屋市民からの真心のご支援を届けながら陸前高田市へ視察に行っています。最近ではテレビや新聞などで被災地のことを取り上げることが少なくなったように感じます。震災直後から現地の方たちがずっと口にしてきた「忘れないでください」との言葉が、時間を経るごとに切実に胸に迫ってきます。たなべ雄一は今回、9月5日から6日の日程で陸前高田市、大船渡市そして気仙沼市を回りました。ここでは現地の様子をレポートします。

視察1日目 陸前高田市(9月5日 金曜日)

陸前高田市社会福祉協議会を視察

花巻空港から一路、陸前高田市社会福祉協議会に向かいました。被災後も一貫して高齢者に寄り添い支えてきている所です。陸前高田市でも復興住宅の建設が進み、仮設住宅からの転居が始まっています。しかし、約3年間暮らした仮設住宅ではやっと近所づき合い(いわゆるコミュニティ)が出来始めたところ。被災後の苦楽を共にした人同士が再び離

れ離れになっていきます。残された人も、出て行った人も環境が変わることで心のバランスが崩れ、中には引きこもってしまう人もいます。そのような方たちを家庭訪問して見守るのも社会福祉協議会の大事な仕事。住宅などハードの復興以上に生活面や精神面などソフトの復興がこれからは更に重要な局面を迎えています。

戸羽市長を表敬訪問

陸前高田市役所仮庁舎2階の市長室で戸羽市長とお会いし、被災地の復興状況などをお聞きしました。この日は、昨年度の決算審議をする議会が始まった日でした。戸羽市長からは「希望の架け橋」と呼ばれるベルトコンベアーを使い旧市街地を10数メートル盛土する造成が急ピッチで進んでいる状況や、今後の移住計画などについて話をお聞きました。他にも奇跡の一本松や慰霊碑などを訪れ、お亡くなりになった方たちのご冥福を深く祈りました。



陸前高田市の市街地は海拔が低いため津波でほぼ壊滅状態となりました。復興計画では山を切り崩してその土で旧市街地を10数メートル盛土し造成します。上空を縦横に張りめぐらせたコンベアー(希望の架け橋)を使えばダンプカーで10年かかる作業を約2年で終わることが出来ます。



視察2日目

大船渡市 — 気仙沼市(9月6日 土曜日)

大船渡津波伝承館を訪問

大船渡市の山の中腹にある津波伝承館は、東日本大震災から二年目のH25年3月11日に仮オープンし、現在は岩手銘菓かもめの玉子で有名な「さいとう製菓」様の本社敷地内にあります。「未来に伝え続けるのはあなた



に助かってほしいから」との理念を掲げ、民設民営での活動をされていることにまず驚かされます。館長の齋藤賢治さん(写真右)は、震災当時さいとう製菓の経営者をされていて、現役を引退した現在

は伝承館の活動に専念されています。齋藤館長はスライドを駆使し、自らの被災経験を通してながらお話をされます。かつて津波被害にあった父母からの教え、津波を知らない世代への伝承の難しさなど多くの教訓が込められており、あっという間の1時間半でした。



リアス・アーク美術館常設展を見学(気仙沼市)

気仙沼市にあるリアス・アーク美術館の常設展「東日本大震災の記録と津波の災害史」を見学しました。この常設展は昨年4月から開催されていて写真203点、被災物155点、歴史資料等137点が展示されています。中でも被災物の現物の展示は津波の恐ろしさと被災者の悲しさを物語って余りあります。これまで写真や映像の資料は多く見てきましたが、当館のように被災物の展示は初めてでした。

震災記憶の風化が心配される今、このような展示は有意義であり是非名古屋市に巡回してもらい、多くの市民に見ていただきたいと思います。



リアス・アーク美術館のホームページより転載



視察行程略図

花巻空港

岩手県

大船渡市

陸前高田市

気仙沼市

宮城県